

### お知らせ

第 17 回学会大会が開催されました。

- 日 時 : 令和 8 年 3 月 4 日 (水) 13:00~17:30  
場 所 : 東京学芸大学 小金井キャンパス 芸術館  
テーマ : 「AI 時代における体育・スポーツ科学の行方」  
— 変わらない本質と変わり続けるテクノロジー  
参加者 : 110 名



#### 【もくじ】

- ・ 令和 7 年度第 17 回学会大会報告 (2)
- ・ 令和 7 年度第 3 回常任理事会・理事会議事録 (5)
- ・ 令和 7 年度総会議事録 (7)
- ・ 令和 8 年事業計画案 (9)
- ・ 令和 8 年予算案 (10)
- ・ 令和 8 年度若手研究助成について (11)

## 第17回研究会開催報告

### 「AI時代における体育・スポーツ科学の行方

#### － 変わらない本質と変わり続けるテクノロジー－

令和8年3月4日（水）に第17回学会大会を東京学芸大学小金井キャンパスにて開催いたしました。本大会は、「AI時代における体育・スポーツ科学の行方－ 変わらない本質と変わり続けるテクノロジー」のテーマのもと、2名の講師によるシンポジウムを実施しました。また、37演題の研究発表が行われ、参加者による活発な意見交換、議論が展開されました。

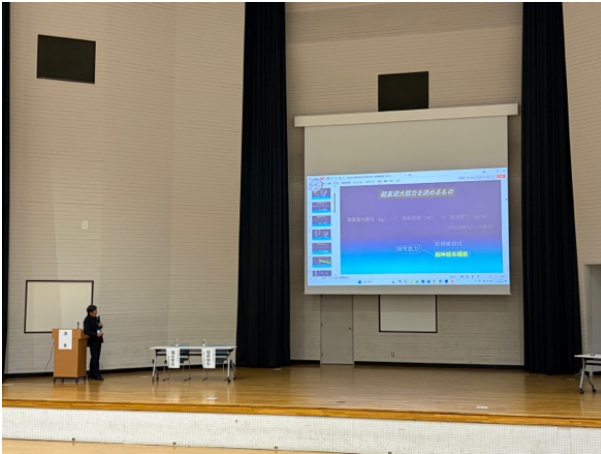
#### 【開催概要】

日時： 令和8年3月4日（水）13:00～17:30  
場所： 東京学芸大学（小金井キャンパス）  
テーマ： 「AI時代における体育・スポーツ科学の行方」  
          － 変わらない本質と変わり続けるテクノロジー  
シンポジスト： 福永哲夫（順天堂大学客員教授）  
                  相原伸平（ハイパフォーマンススポーツセンター）  
司会・進行： 吉岡伸輔（東京大学）  
参加者 約 110名

#### 概要

近年、人工知能（AI）の急速な発展は、教育、医療、産業、スポーツ現場に至るまで、あらゆる領域に大きな変化をもたらしている。動作解析、戦術分析、トレーニング最適化、傷害予防予測など、体育・スポーツ科学の分野においても AI は重要な「手段」として活用され始めている。しかし、ここで改めて問い直すべきことがある。AI はあくまで「手段」であり、「目的」ではない。体育・スポーツの本質は、人が身体を通して世界と関わり、学び、他者とつながり、自己を形成していく営みにある。身体は単なる運動装置ではなく、感覚・情動・意図・関係性を内包した存在である。AI は高度なデータ処理や予測を可能にするが、身体を生きる存在としての人間の経験（身体性）を代替することはできない。では、AI 時代において本当に大切なことは何か？それは、目的と手段を峻別する視点、変わらない本質を見極める哲学、変化を恐れず、テクノロジーを積極的に活用する姿勢ではないか？体育・スポーツ科学の目的は、単なる記録向上や効率化ではなく、人の可能性を広げ、より良い生活の質（Quality of Life）を支えることにある。その目的を見失わない限り、AI は脅威ではなく、強力な協働者となり得る。

本シンポジウムでは、2名の著名な研究者・実務家をお招きし、AIによって何が、変わるのかそれでも変わらない体育・スポーツの本質とは何か研究者・教育者はどのように AI を積極的に活用すべきか、「AI にはない身体性」とは何を意味するのかについて多角的な議論が展開された。



シンポジスト：福永氏



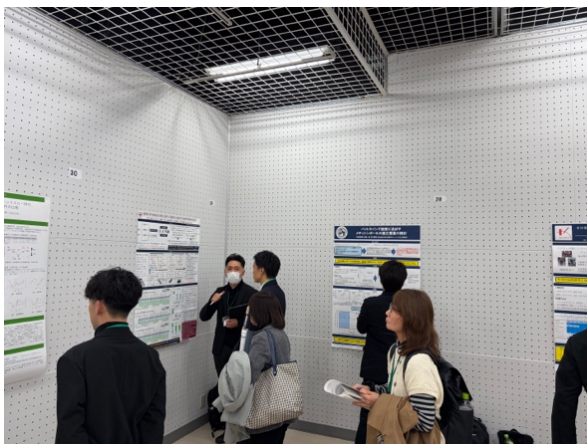
シンポジスト：相原氏



総合議論の様子



ポスター発表の様子



ポスター発表の様子



ポスター発表の様子

## 東京体育学賞、東京体育学奨励賞 受賞者

### 【東京体育学賞】

- 今若太郎（上智大学）

演題タイトル：発育に伴う野球の打撃・投球・走塁能力を規定する身体的要素の変容

### 【東京体育学奨励賞】

- 村石光二（立教大学大学院）

演題タイトル：暑熱下での間欠性運動時における自発的飲水量とパフォーマンス低下率の関係性

- 三宅麟太郎（鹿屋体育大学大学院）

演題タイトル：複数の行為選択肢間の競合がサッカーのインサイドキック動作に与える影響

- 高橋 沙也花（日本女子体育大学大学院）

演題タイトル：女子高校生フェンシング競技者の競技場面におけるストレスサー及びそのストレスレベルに対する認知的評価の影響



沢井会長、今若太郎さん



村石光二さん、三宅麟太郎さん、沢井会長、高橋沙也花さん

## 東京体育学会

### 令和7年度第3回常任理事会・理事会 議事録

日時：令和8年3月4日（水）11時00分～12時00分

会場：東京学芸大学 小金井キャンパス 芸術館2階

出席者

理事：稲葉優希、及川佑介、太田あや子、柏木悠、川上泰雄、菊池直樹、熊川大介、  
佐々木玲子、沢井史穂、田中重陽、広瀬統一、芳地泰幸、星川佳広、  
森山進一郎、吉岡伸輔、船渡和男（敬称略）

計16名

事務局：南智子

欠席者

理事：秋葉茂季、岡出美則、相馬満利、野井真吾、袴田智子、細越淳二、村岡哲郎、  
宮地元彦、（敬称略）

計8名（委任状提出8名）

柏木理事長より出席・欠席者数と委任状提出数の報告がなされ、決議が成立することが確認された。

#### I. 報告事項

##### 1. 新入会員、退会・転出者について

柏木理事長より【報 - 資料1】に基づき新入会員、退会・転出者について報告がなされた。

##### 2. 第17回学会大会について

柏木理事長より【報 - 資料2】に基づき第17回学会大会の概要について報告がなされた。

##### 3. 令和7年度中間事業報告について

柏木理事長より【報 - 資料3】に基づき令和7年度中間事業報告について報告がなされた。

##### 4. 令和7年度中間会計報告について

庶務・会計担当の田中理事より【報 - 資料4】に基づき令和7年度中間会計報告について報告がなされた。

##### 5. 東京体育学研究第17巻について

編集担当の星川理事より【報 - 資料5】に基づき東京体育学研究第17巻の投稿状況について報告がなされた。

##### 6. その他

特になし

## II. 審議事項

### 1. 会則の改正について

庶務・会計担当の田中理事より【審 - 資料1】に基づき、会則の改正について名誉会員の設立と、学会の運営に合わせた記載にするため、常任理事会の削除について説明がなされ、審議の結果、原案通り承認された。

### 2. 学会誌印刷の廃止について

柏木理事長より【審 - 資料2】に基づき説明がなされ、近年の学術情報の電子化が進展、財政状況および会員数の減少も踏まえ東京体育学研究の印刷の廃止について提案がなされた。審議の結果、第18巻より完全オンライン化に移行をすることが承認された。尚、公開の方法については、現行通りのホームページに掲載することが確認された。

### 3. 東京体育学研究の審査要領および投稿規定の変更について

編集担当の星川理事より、【審 - 資料別】に基づき、査読審査の申し合わせ、審査要領および、投稿規定の変更点について説明がなされ、審議の結果、査読審査の申し合わせ、審査要領については原案どおり承認され、投稿規定については、8の項目を削除することが承認された。

### 4. 令和8年度事業計画案について

柏木理事長より【審 - 資料3】に基づき、令和8年度事業計画案について説明がなされ、審議の結果、原案どおり承認された。

### 5. 令和8年度予算案について

庶務・会計担当の田中理事より【審 - 資料4】に基づき、令和8年度予算案について説明がなされ、審議の結果、令和9,10年度の理事選挙費用の20万円の赤字分については、繰越金から支出することで承認された。

### 6. 令和8年度若手研究助成申請書の一部改訂について

柏木理事長より【審 - 資料5】に基づき、令和8年度若手研究助成申請書の一部改訂について説明がなされ、審議の結果、原案どおり承認された。

### 7. 令和9年・10年度 理事選挙における選挙管理委員選出 について

柏木理事長より【審 - 資料6】に基づき、令和9年・10年度 理事選挙における選挙管理委員選出について説明がなされ、審議の結果、原案どおり承認された。

### 8. 令和7年度総会次第について

柏木理事長より【審 - 資料7】に基づき、令和7年度総会次第について説明がなされ、審議の結果、原案どおり承認された。

### 9. その他

特になし

(文責：理事長 柏木悠)

## 東京体育学会

令和7年度 総会議事録

令和8年3月4日（水） 17時15分～

於：東京学芸大学 小金井キャンパス 芸術館

1. 会長挨拶

沢井会長より挨拶があった。

2. 議長選出

東京体育学会規則第5章第26条に基づき、総会出席者の中から横沢翔平会員が選出された。

### 3. 議題

#### 報告事項

(i) 令和7年度事業中間報告について

柏木理事長より資料に基づき令和7年度事業中間報告について報告された。

(ii) 令和7年度中間会計報告について

庶務・会計担当の田中理事より資料に基づき令和7年度中間会計報告について報告がなされた。

(iii) 若手研究助成について

柏木理事長より資料に基づいて若手研究助成について報告された。

(iv) その他

特になし

#### 審議事項

(i) 東京体育学会会則の改正について

庶務・会計担当の田中理事より資料に基づいて東京体育学会会則の改正について説明がなされ、承認された。

(ii) 東京体育学研究投稿規定の改正について

柏木理事長より資料に基づいて東京体育学研究投稿規定の改正について説明がなされ、承認された。

(iii) 東京体育学研究のオンライン化について

柏木理事長より資料に基づいて東京体育学研究のオンライン化について説明がなされ、承認された。

(iv) 令和6年度事業報告について

柏木理事長より資料に基づいて令和6年度事業報告について説明がなされ、承認された。

(v) 令和6年度会計報告について

庶務・会計担当の田中理事より資料に基づいて令和6年度会計報告について説明がなされ、また、太田監事より、適正に処理されていることが報告され、承認された。

(vi) 令和8年度事業計画案について

柏木理事長より資料に基づいて令和8年度事業計画案について説明がなされ、承認された。

(vii) 令和8年度予算案について

庶務・会計担当の田中理事より資料に基づいて令和8年度予算案について説明がなされ、承認された。

(viii) 令和9年・10年度 理事選挙における選挙管理委員選出について

柏木理事長より資料に基づいて令和9年・10年度 理事選挙における選挙管理委員選出について説明がなされ、承認された。

(ix) その他

特になし

#### 4. 理事長挨拶

柏木理事長より挨拶があった。

(文責:理事長 柏木悠)

## 令和8年度事業計画案について

1. 東京体育学会第18回大会の開催

日 時 : 令和8年3月

場 所 : 未定

2. 研究会の開催(年1回)

令和8年度第1回研究会(第106回) 令和8年10月中旬:開催形式はオンライン

3. 研究誌「東京体育学研究第18巻」の刊行

4. 会報「とうきょう」の発行

「とうきょう」(2026年度.No.1) 令和8年7月発行 [Web上に掲載]

「とうきょう」(2026年度.No.2) 令和8年11月発行 [Web上に掲載]

「とうきょう」(2026年度.No.3) 令和9年3月発行 [Web上に掲載]

5. 若手研究助成事業  
2件

6. 諸会議の開催

総会(1回) 令和9年3月

理事会(3回) 令和8年6月中旬、令和8年11月中旬、令和9年3月上旬

## 令和8年度予算案

## 令和8年度予算案

I 事業活動収入						(単位:円)	内訳/注記
大科目	中科目	小科目	予算額	前年度予算	差額		
会費収入			1,650,000	1,650,000	0		1,100名×@1,500円
入会金収入			5,000	5,000	0		10名×@500
事業収入			5,000	5,000	0		
寄付金・補助金収入			315,000	315,000	0		
収入合計			1,975,000	1,975,000	0		
II 事業活動支出							
大科目	中科目	小科目	予算額	前年度予算	差額		
事業費支出	学会大会費支出	臨時雇賃金支出	50,000	50,000	0		
		会議費支出	230,000	230,000	0		
		旅費交通費支出	10,000	10,000	0		
		通信運搬費支出	10,000	10,000	0		
		消耗品費支出	10,000	10,000	0		
		諸謝金支出	90,000	90,000	0		
		学会賞金支出	60,000	60,000	0		
		(小計)		460,000	460,000	0	
	研究会費支出	臨時雇賃金支出	10,000	10,000	0		
		会議費支出	10,000	10,000	0		
		旅費交通費支出	10,000	10,000	0		
		通信運搬費支出	5,000	5,000	0		
		消耗品費支出	10,000	10,000	0		
		諸謝金支出	80,000	80,000	0		
	(小計)		125,000	125,000	0		
	学会誌刊行費支出	通信運搬費支出	10,000	80,000	▲70,000		
		消耗品費支出	10,000	100,000	▲90,000		
印刷製本費支出		150,000	400,000	▲250,000			
査読者謝礼		30,000	0	30,000			
(小計)		200,000	580,000	▲380,000			
学術連合会費支出	学術連合会費支出	30,000	30,000	0			
研究助成費	研究助成費支出	400,000	0	400,000			
(小計)		430,000	30,000	400,000			
管理費支出	常設委員会費支出	会議費支出	50,000	50,000	0		
		旅費交通費支出	10,000	30,000	▲20,000		
		通信運搬費支出	10,000	10,000	0		
	(小計)		70,000	90,000	▲20,000		
	その他管理費支出	事務アルバイト代支出	360,000	360,000	0		
		幹事手当支出	120,000	120,000	0		
		旅費交通費支出	20,000	20,000	0		
		通信運搬費支出	47,000	47,000	0		
		消耗品費支出	25,000	25,000	0		
		選挙管理費支出	200,000	0	200,000		
		委託費支出	78,000	78,000	0		
		予備費	40,000	40,000	0		
	(小計)		890,000	690,000	200,000		
支出合計		2,175,000	1,975,000	200,000			
						▲前年度に対する予算減	
収入合計		1,975,000					
支出合計		2,175,000					
収入合計－支出合計		-200,000					
前年度(R7)繰越金		734,943					
次年度への繰越金(予定)		524,943					

**令和8年度若手研究助成について**  
東京体育学会 令和8年度若手研究助成事業  
募集要項

1. 主旨

東京体育学会は、体育に関する科学的研究を行い、体育学の発展を図り、体育の実践に寄与することを目的としています（会則第1章 総則第2条）。本助成は、体育・スポーツ・健康に関する科学的研究を促進し、東京体育学研究のさらなる促進および若手研究者の育成を主旨として実施するものです。

2. 研究課題

自由課題（1件20万円、2～3件）

申請者自身が課題を設定し、実施する研究に対して助成いたします。

ただし、体育学およびスポーツ・健康科学に沿う研究課題を設定してください。

（上記助成額に加え、対象者の所属機関が定める間接経費を別途お支払いたします）

3. 助成要件および助成対象者の責務

① 下記の申請資格を満たす研究者が主体的に行う研究であること

② 助成金受領後1年間で予定したデータ収集を終えることが可能なこと

③ 成果を助成金受領後2年以内に学会誌『東京体育学研究』に論文として投稿すること

（投稿に際しては通常の論文と同じ扱いとする。論文の採否は問わない）

4. 申請資格

① 本学会の会員（申請時点）

② 39歳以下の研究者（申請時点）

（学生の応募も認めるが指導教員が共同研究者として加わること。申請者は個人に限り、

団体名での申請は認めない）

③ 原則として所属機関での資金管理が可能である者

（東京体育学会に所属する共同研究者に可能な者が含まれている場合も認める）

④ 原則として科学研究費補助金の応募資格を有する機関に所属する者

（東京体育学会に所属する共同研究者に可能な者が含まれている場合も認める）

⑤ 学会誌『東京体育学研究』への投稿まで責任をもって研究を推進出来る者

5. 応募手続

申請書（ファイルネーム例：申請書\_東京太郎）および研究計画書（ファイルネーム例：研究計画書\_東京太郎）に必要事項を記入し、令和8年4月24日（金）23:59までに学会事務局にメール（tokyotaiiku@ml.senshu-u.ac.jp）で送信してください。申請は1人1件のみとします（共同研究者としての申請は除く）。

## 6. 選考方法

本学会の会長，理事長，研究担当理事および会長の指名する会員によって，申請書に基づき審査・選考を実施し，理事会において決定いたします。

## 7. 選考基準の概要

下記点を考慮した上で総合的に判断いたします。

- ・本学会の目的への適合性
- ・独創性および発展性
- ・研究方法、計画の具体性
- ・研究費使途の妥当性

## 8. 採否連絡および助成の時期

令和8年5月中に採否について決定し，その結果を申請者に通知いたします。

## 9. 報告書および会計報告書の提出

学会誌『東京体育学研究』に投稿された原稿（採択された場合は採択原稿）を研究報告書といたします。また，研究終了後1ヶ月以内に会計報告書を提出してください。

## 10. 助成金の返還

助成要件が満たされなかった場合，責務が果たされなかった場合，助成金の不正使用や同一課題に対する他団体からの重複助成が発覚した場合などにおいては，助成金全額の返還を求めることがあります。

## 11. 個人情報の取り扱い

申請書の個人情報について本助成以外の用途に用いることはありません。なお，採択された課題については，研究題目，目的（概要），氏名，所属機関，職位（学年）を公表いたします。

## 12. その他

- ・本助成によって得られた成果を発表する際は，本学会より助成を受けた研究であることを明記してください。
- ・原則として，助成金の管理は所属機関で行い，個人口座での管理は認めません。所属機関による助成金の管理が不可能な場合には，採択の通知を受けた際に速やかに事務局にご相談ください（領収証等の提出が必要となります）。
- ・申請書は返却いたしません。

※学会ホームページをご確認ください。

### 【問い合わせ先】

東京体育学会事務局 〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1 専修大学5号館G11 研究室内

E-Mail: tokyotaiiku@ml.senshu-u.ac.jp

**会報「とうきょう」2025年度 第3号**

---

発行日：2026年3月31日 編集：広報委員会  
発行人：東京体育学会 会長 沢井史穂  
〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1  
専修大学 5号館 G11 研究室内 東京体育学会事務局  
e-mail: tokyotaiiku@ml.senshu-u.ac.jp